

# 愛知県感染症情報

平成 11 年第 49 週 ( 12 月第 2 週 )

( コメント )

感染性胃腸炎は、定点当たり先週の 6.7 人から 10.8 人とかなり増加しています。

インフルエンザ、水痘も増加していて、インフルエンザは定点当たり 2.0 人、水痘は 2.5 人の報告がありました。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は依然として流行しています。

( 先生方からのコメント )

- ・ 嘔吐を伴う感冒が目立つ。2~3 日で回復。下痢、発熱を伴うものがあるが少ない。  
( 田原町 かわせ小児科 )
- ・ ロタウイルス (+) 5 ヶ月男  
熱のある児が増えています。  
園で 1 クラス学級閉鎖になりました ( 感染性胃腸炎大流行のため )  
( 豊橋市 大谷小児科 )
- ・ 乳児でロタウイルス (+) が多く見られます。  
( 豊橋市 富田小児科 )
- ・ 嘔吐のカゼが流行しています。  
インフルエンザの 1 名は津島から里帰りの子です。  
( 蒲郡市 蒲郡市民病院 )
- ・ マイコプラズマ肺炎 8 才男  
( 岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院 )
- ・ マイコプラズマ 4 才男  
麻疹 1 例あり ( 豊田市の 9 才 )  
サルモネラ 0-9 6 才男  
( 岡崎市 花田こどもクリニック )
- ・ マイコプラズマ肺炎 9 才男  
( 岡崎市 医療法人深田小児科 )
- ・ 病原性大腸菌 0-1 VT1、VT2 (-) 1 才女  
( 岡崎市 にいのみ小児科 )

- ・ インフルエンザ 2才女（迅速検査FluA陽性、父より感染）  
インフルエンザ 5才女（迅速検査FluA陽性、インフルエンザワクチン1回接種）  
（岡崎市 医療法人深田小児科）
- ・ 病原大腸菌 0-6 VT1、VT2(-) 5才  
（幸田町 とみた小児科）
- ・ 感染性胃腸炎が増えてきました。嘔吐のみの患者が多く白色便は少ないようです。  
（西尾市 やすい小児科）
- ・ 今週は特に感染性胃腸炎が目立ちました。  
（西尾市 山岸クリニック）
- ・ 感染性胃腸炎 12ヶ月女 ロタ  
（知立市 近藤こどもクリニック）
- ・ インフルエンザ 3人（6才男、女及び1才女、ディレクティジェンFluA陽性）  
（刈谷市 まついこどもクリニック）
- ・ SSSS（ブドウ球菌性熱傷様皮フ症候群） 5才男  
水痘 5才男（ワクチン接種歴有り）  
幼児から学童の嘔吐症が目立ちます。  
（刈谷市 永井小児クリニック）
- ・ 病原性大腸菌 0-114 6才男  
（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）
- ・ インフルエンザ A型  
（豊田市 やふそ小児科）
- ・ 無菌性髄膜炎の発症が同一地区から4名あり  
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- ・ 水痘再び流行中  
高熱が3~4日持続し、中耳炎や気管支炎の合併症をみる感冒が乳児に多く見られます（入院例も数例あり）。  
突発疹、流行性耳下腺炎散見。  
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
- ・ インフルエンザ A型（9ヵ月~30才）がではじめました。（14名中9名は、インフルエンザ A抗原検査で確認し、他は家族内感染）。溶連菌は相変わらず多く、水痘も流行しはじめました。細気管支炎 9ヵ月男 RSV(+）。  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）

- ・ 溶連菌感染及び感染性胃腸炎(嘔吐症)多く、マイコプラズマ肺炎も多く見られます。インフルエンザ筋炎(9才男)も1例みられました。

(小牧市 志水こどもクリニック)
- ・ 高熱の出るインフルエンザが出はじめました。

(春日井市 かちがわ北病院)
- ・ 下痢、嘔吐急増

(春日井市 朝宮こどもクリニック)
- ・ インフルエンザの流行はほとんど保育園、幼稚園及び小学校低学年です。

(津島市 田中こどもクリニック)
- ・ 感染性胃腸炎多発

(西春町 中村内科医院)
- ・ インフルエンザ A 型 5 才以下 7 名 (BD ディレクティジェン FluA)  
ロタウイルス腸炎 2 名

(尾西市 城後小児科)
- ・ 先週に続き感染性胃腸炎が流行。  
嘔吐が主体で点滴を必要とするような下痢の子は少ない。  
大人も感染例あり(母親)  
稲沢市の幼稚園でムンプスが流行中のようです。

(一宮市 あさのこどもクリニック)
- ・ 感染性胃腸炎急増(全年令を通じて)

(一宮市 後藤小児科医院)
- ・ 溶連菌感染症は減少していますが、嘔吐を伴う胃腸炎が急増しています。咳嗽の強い気管支炎も多くみられています。ヘルペス口内炎 2 名(2才男、1才女)

(江南市 みやぐちこどもクリニック)
- ・ 1 保育園 0 才児クラスで流角(流行性角結膜炎)大流行(Adeno8)  
各保育園 2~3 才児クラスで水痘大流行、手足口病依然として多し、  
胃腸炎多発

(岩倉市 なかよしこどもクリニック)

( 1 ~ 3 類感染症の発生状況 )

腸管出血性大腸菌感染症患者 3 名。

春日井保健所から報告の 45 才女 ( 12/3 発病、12/4 初診、12/8 診定 )、1 才女 ( 12/3 発病、12/4 初診、12/8 診定 )、32 才男 ( 12/7 発病、12/8 初診、12/9 診定 ) いずれも菌型は、O-157 VT1、VT2(+)

( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

発生はありませんでした。

第 47 週 ( 11 月 22 日 ~ 28 日 ) の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘など、冬期に流行のみられる疾患の報告数が急増している。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と突発性発疹は、定点当たり報告数が例年の同時期に比べかなり多くなっている。感染性胃腸炎は、宮崎県からの定点当たり報告数 27.27 を筆頭に、福岡、鹿児島、富山、埼玉、山口、大分、佐賀、石川、奈良などの各県で定点当たり 10 人を越え、報告が多くなっている。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供 )